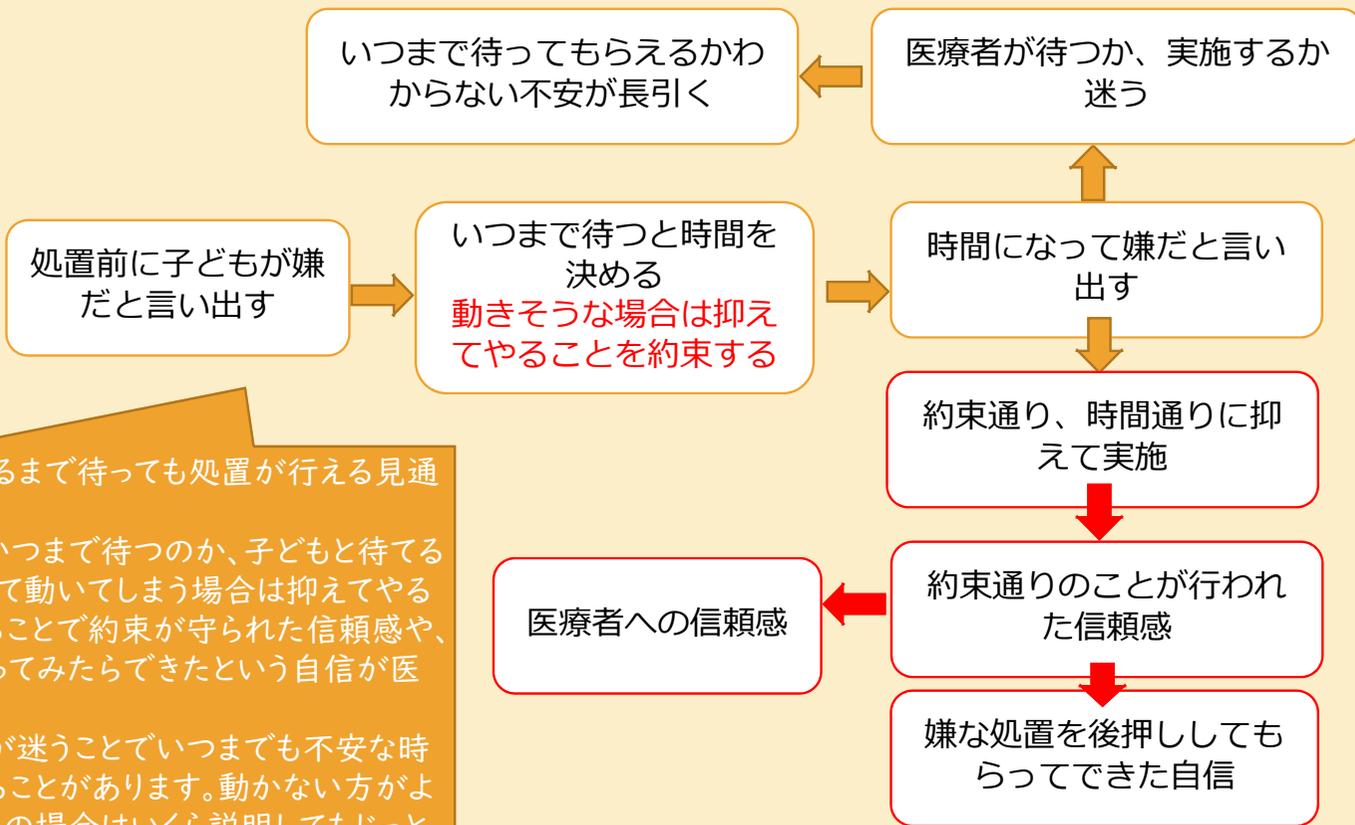


Q;子どもが待ってと言ったらいつまで待ったらよ いでしょうか



処置前に子どもが嫌だと言出した場合、やる気になるまで待っても処置が行える見通しが持てないことが多いと思います。

その場合、時間を決めて待つという方法がありますが、いつまで待つのか、子どもと待てる時間(タイムリミット)を約束し、その時間が来ても嫌がって動いてしまう場合は抑えてやることを事前に伝えておくことができると思います。そうすることで約束が守られた信頼感や、嫌な処置を押さえてもらって後押ししてもらえたこと、やってみたらできたという自信が医療者への信頼感につながるのではないかと思います。

やる気になるまで待つのか、抑さえてやるのか医療者が迷うことでいつまでも不安な時間が長引くことで処置へのマイナスイメージが大きくなることがあります。動かない方がよいとわかっているにもかかわらず自制が難しい発達段階にある子どもの場合はいくら説明してもじっとしてできないことが多いと思います。また神経的な反射として動いてしまうこともあります。

動いてしまう子どもを押さえて処置を実施することに罪悪感を抱いてしまう医療者は多いと思いますが、医療処置を行う本来の目的や子どもにとっての意義を考え、安全に早く処置を終えるための抑制や固定は必要なことだと考えることができると思います。